

2,4-ジクロロ-1-ニトロベンゼン分析法

構造式：C ₆ H ₄ Cl NO ₂	分子量：192	CASNo.611-06-3
許容濃度等：ACGIH なし 産業衛生学会 なし OSHA NIOSH AIHA	物性等 比重（蒸気） 6.6 密度（液体） 沸点： 258.5 °C 融点： 34 °C 蒸気圧： 1.43×10 ⁻² mmHg	
別名		
<p>サンブラ：固体捕集管 TenaxTA 200 mg Tenax充填層にガラス繊維 フィルタを前置する サンプリング流量：0.2 L/min</p> <p>サンプリング時間： 10 分</p> <p>採気量： 2 L</p> <p>破過時間： TenaxTA捕集管にジクロロニトロベンゼン80ng の メタノール溶液として添加し、通気速度200 ml/ 分で120分まで通気した後吸着破過は認められな</p> <p>試料保存性： ジクロロニトロベンゼン(80ng)のメタノール溶液 を添加し、通気速度200 ml/分で20分通気してメ タノールを除いた後スウェジロック栓をして室温 で保存した。7日後ジクロロニトロベンゼンの減 少は見られない(回収率99.3% 変動係数 2.7%)</p> <p>ブランク：</p>	<p>分析方法：ガスクロマトグラフFID法</p> <p>脱着方法：加熱脱着法</p> <p>検出器：FID</p> <p>加熱脱着装置 (Perkin Elmer TurboMatrix ATD) 脱着温度 250 °C時間 10分 トラップ温度 -30 °C 脱着時キャリアー流量 He 20ml/分 トラップ加熱 250 °C 2分 出口スプリット比 3.4 注入時キャリアー流量 He流速 6ml/分 キャピラリカラムのキャリアー流速 2.5 ml/分 (50 °C)</p> <p>GC (Perkin Elmer Clarus 500) カラム DB200(J&W) 30 m×0.32 mm 膜 厚0.25 μm カラム温度 50 °C (2分) 8 °C/分 180 °Cまで昇温 FID 温度 280 °C 水素 40 ml/分, 空気 400 ml/分</p> <p>保持時間</p>	
精度	2,5-ジクロロニトロベンゼン 20.65分	
脱着率 >99 %	2,4-ジクロロニトロベンゼン 20.89分	
	3,4-ジクロロニトロベンゼン 21.01分	
<p>定量下限 (2L 捕集)</p> <p>2,5-ジクロロニトロベンゼン 1.1 ppb</p> <p>2,4-ジクロロニトロベンゼン 1 ppb</p> <p>3,4-ジクロロニトロベンゼン 2.5 ppb</p>	<p>検量線：ジクロロニトロベンゼンをメタ ノール溶液で捕集管に添加し分析する 添加量： 40-1000 ng</p>	
適用		
異性体3種は相互に分離し、定量できる		